

きたほ Hot Line

No.574 5月号 2023

喜多宝人

株式会社さとう総業

佐藤 智幸 さん

「未来を大切に作る企業を目指して」

士業の見方
特別対談

太田 秀俊さん(有限会社SOYsource建築設計事務所)

小野寺 徹さん(サン工業株式会社)

栗原 将光さん(株式会社盛総合設計)





従業員とともに変化する 環境に挑む

ある日の火事がきっかけで

私の父、先代の社長で現会長が、当時の泉市将監の自宅敷地内に事務所を構え、独立して始めた事業を前身に、昭和49年に創業したのが弊社の起りになります。元々は、グレーダー施工といって特殊機械を使つての整正、路盤づくりを屋台骨に、激動の時代を生きた先代が、そのバイタリテイのままに事業を拡張、土木工事、道路メンテナンスを主とする現在に移り変わってきました。

私が中学生の時に、通っていた学校の校庭整備を弊社が担当したことがありました。その時に父の仕事や弊社の事業について「こういうことをやっているんだ」と初めて認識したと記憶しているのですが、その時の私はまだ土木工事に関わることをイメージしておらず、高校は普通科でしたし、大学でも全く違う分野を学び、測量の会社に就職しました。

最初の職場ではマンホール設置の為の現地測量など基礎から少しずつ仕事を学んでいま

した。

そんなある日、さとう総業の敷地内で火事が発生するという出来事があり、その後片付けに弟と共に駆け付けました。その同時期に父から新事業を始めるんだが手伝ってみるかという話をもらいました。「力になれるなら」と思い、平成6年にさとう総業に入社しました。

右も左も分からない

さとう総業に入社し、携わった新規事業というのが水処理でした。温泉排水に含まれると素を除去する装置の設計施工で、私自身が何もわからないところからのスタートだったことに加え、お客様と価格面で常にぎりぎりの交渉が求められる仕事でした。振り返るととても苦しかったことばかりが思い出されます。何とか軌道にのせたかったのですが、私の力不足もあり大きく実ることはありませんでした。

その後、私は弊社の主たる



未来を大切にする 企業を目指して

株式会社さとう総業 **泉東支部**

代表取締役

佐藤 智幸さん

〒981-3131
宮城県仙台市泉区七北田字朴木沢93番地の1
TEL 022-374-1181



事業である土木工事、道路メンテナンスの営業を担当することになるのですが、その際同業他社の方から様々なことを教わりました。

それから約20年、部長や常務など立場を変えながらさとう総業という会社を見続け、昨年の3月に父から引き継ぐ形で代表取締役に就任しました。社長就任以前、その時々々の立場で目の前の課題と向き合いつながり、会社が見えるようになったと思っていました。

いざ社長になってみるとその景色はそれまでとは全く違うものでした。経営者という立場での従業員や取引先との接し方など数え上げればきりがありません。従業員の生活を守るといふ重い責任を痛感すると共に経営についてこれからの様々なことを学び、今後若い世

代にも受け入れられる会社作りにも邁進していきます。

モチベーションを上げたい

こうした機会に、改めて弊社の強みを考えてみますと、特殊機械を保有していることです。それは、災害時などに特に強みとして発揮できるものと考えますが、一方でこうした特殊機械を使いこなす技能の継承というものが課題として浮かび上がってきます。

それ以外にも、若年者雇用の促進、情報化施工への取り組みなど、企業力の向上が、否応なく問われる変化が次々と押し寄せてくる状況で、悩む日々を過ごしています。

先般、とあるセミナーで「現代にふさわしいリーダー像」という表題の講話を拝聴してきました。「心理的安全性の確保が生産性の向上につながる」「3K 共感する欠点をさらけ出す 感謝する」等々、目からうろこの話が満載でした。

先代が発揮してきたバイタリテイを念頭に置きながら、その経営姿勢を踏襲しつつ、一つ一つの課題に向き合い、着実に前進していければと考えております。



◆この記事は、各支部長の推薦により掲載しております。掲載を希望される方は各支部長又は事務局に申し出てください、支部長の推薦により決定いたします。

士業の見方

特別対談

今回の「特別対談」に登場していただいたのは、建築士の資格を持つ3人。同じ建築士と言っても仕事の内容はそれぞれ異なるが、公共工事にも携わり、住みよいまちづくりの一端を担う。税金の使い道のひとつ、価値ある公共施設とは。建築の最新システムやインボイス制度、社会貢献など、変革を迫られている現場の本音を語ってもらった。

皆さんは、仕事の中で公共工事に関わる機会も多いと思います。公共工事の行われ方は、税金の使われ方という点で世の中の関心も高い。仕事内容の紹介を兼ねて、公共工事や、現場で感じていることをお願いします。

太田秀俊さん(以下太田) 建築設計の意匠(デザイン)を専門にしています。少人数の会社なので、プロジェクトごとに他社とチームを組み、おもにクリニックや幼稚園などの建物を手掛けています。

公共施設のあり方で、地域が描いている未来が分かる 太田

例えば、山形県は宮城県に比べて子どものための公共施設が多い。子どもに対して行政がどう考えているか。室内施設の必要性は、気候風土という背景もありますが、遊び場の設置ひとつとっても、それがあることによってどういう未来を描いているかというのが分かります。公共施設の評価はいろいろな視点がありますが難しいですが、その施設に子どもが笑顔で集まっているなら、造った意味がありますよね。

少子高齢化など課題がある中で、

まちづくりで優先させていることとは何か。何をどこに、どんな目的でどのように造るかという考え方が反映されていますよね。

栗原将光さん(以下栗原) 当社は昭和21年創業の組織事務所と呼ばれる部類の設計事務所です。意匠、構造、機械設備及び電気設備の設計を総合的に提供することを目的に、専門知識を持った約15名の建築士によって運営しています。リーマンショック前までは官公庁からの受注をメインにしてき

ましたが、現在は、医療福祉施設や事務所などの民間施設の設計にも携わる機会が増え、官民比率

は6:4です。建築を通して地域に還元したいという思いでこれまで事業を継続してきました。限られた予算の中ではありますが、豊かな特色を持つ地域資源を活用し、建築文化に資する建物を提供して行きたいと考えています。

小野寺徹さん(以下小野寺) お二人は設計を生業とされていますが、当社は公共、民間の建築工事を施工する建設会社で、同じ設計事務所でもあり、私も一級建築士ですが、設計のみを請け負うことはなく、建設会社の設計部門として、施工と一体となる設計を行います。

公共工事では、より良いものを作っても「今までこうだった」という発注者の基準に縛られることもある。最近の主流の仕様や基準を適用できない場合があり、施工会社である我々が図面や現場

で「こうした方が良いのにな」と思っても、当然、変更はできません。そんなジレンマもありますね。

栗原 自治体の考え方によって多少の差は生じますが、公共事業を行う上では、住民や地域格差が生じないように、平等であることが求められ、標準的な仕様が必要になります。建築設計においても、デザインや規模などが画一的な建物が多く建築された時代もありました。しかし、最近では、SDGsや脱炭素等を念頭に、経済性が高く、地域特性に配慮したデザインや持続可能で省エネ性に配慮した公共建築も増えてきました。しかし、費用対効果を検証しながら仕様を決定するため、トレンドや予算化されていない部分について、迅速に対応することは難しいと感じています。

ムダのないということが、できるだけコストを掛けないこととイコールになっているなど、住民の財産となる良いものをという思いとのジレンマも多いですね。

栗原 もう少し言及すれば、予算化する際にインシヤルコストの実現性は高いと思いますが、ランニングコストの予測が不十分なように感じます。公共施設は50年から70年



太田秀俊さん

程度利用することを前提に設計をしますが、設備機器の寿命は15年程度でやってくるので3、4回更新しなくてははいけません。社会情勢による電気代の高騰なども踏まえると、建設時にかかるコストよりも、運用してからかかるコストの方がはるかに大きいです。長くない状態で快適に使うことも無駄を省くことになるので、その部分は特に気になっています。

太田 最低限の計画だとしても、実際その通りにメンテナンスがされているわけではないですね。

維持管理でいえば、公共施設は特に樹木、特に落葉樹を植えるのを避ける傾向があります。手入れや落ち葉の片付けという、余計な仕事が出てくるので。本来なら、夏は木陰ができて涼しく、冬は葉が落ちて室内に光が入るなど、見た目の良さだけでなく心地よさという効果もあるんです。

落ち葉だけでなく、樹木そのものが通行の邪魔だと言われる例もありました。日本人は心豊か

中央支部
株式会社盛総合設計
代表取締役社長
栗原将光さん

泉西支部
サン工業株式会社
代表取締役
小野寺徹さん



にそうした自然に風情や情緒も感じてきたはずで、建物づくり、地域づくりも本来そうしたところがいいのですが。

太田 杜の都といわれる仙台も、まちなかの住居には庭が減ってきています。地価が上がりに土地や構造に予算が掛かるから、そうした部分にお金がまわらないのが現状なのでしょう。



栗原将光さん

栗原 省エネの手法として、太陽の光や、自然風、樹木などの自然エネルギーを採用するパッシブデザインと、先進技術を利用してエネルギー利用の最適化を目指すアクティブデザインがあります。近年は、これらをベストミックスさせ、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物です。建物のことでは人が活動しているため、消費量をゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーを作ること、エネルギー消費量を実質でゼロにする取り組みが始まっています。

将来の維持管理も見据えた、建築の効率化と高度化を図るBIM（ビルディング インフォメーションモデリング）が話題です。

中央支部
有限会社SOYsource
建築設計事務所
代表取締役
太田 秀俊さん



小野寺 2次元の図面では図面の不整合や納まりの不備などが残る場合がありますが、BIMでは、コンピューター上で建物として成立したものが設計から施工まで共有されます。

栗原 整合性の取れた設計図書を作成することは大切なことです。が、これまでの設計においてはやり切れていない部分もありました。BIMは意匠、構造、設備の図面に3次元の情報を持たせることで、デジタル空間上で立体として可視化できるため、合意形成が容易で、図面間の不整合を排除でき、長期的な維持管理までも見据えた有効なツールです。諸外国

工程のムダを省けるBIMに期待 栗原

に比べ日本は普及が10年以上遅れているといわれています。本年度より、国土交通省直轄事業において、義務化されるようです。

BIM導入によって公共工事が変わり、公共施設がより良くなっていく可能性があるということですね。

栗原 設計だけで運用しても非効率的で負担が非常に大きいです。いざれ普及し、これまでの設計と施工の住み分けが変われば、工程の無駄を省くことになり始めて労働時間の短縮につながります。その時を期待し今後も取り組みを続けたいと考えています。システム導入のための予算には補助金制度が使えるようになりました。使いこなすまでにはいろいろ壁があると思いますが、早めの導入が有利に動くのでは。

太田 業界全体での普及がカギになります。せつかくBIMで設計図を作って渡しても、次の施工会社が使ってなかったら意味が

なくなる。今のところ、設計から施工まで自社で行う会社なら導入価値があると思います。

小野寺 BIMの他にも、これまで紙ベースでのやり取りをしていた受発注者間のクラウドシステムも導入が進んでいます。人材不足の中、生産性向上の取組は不可欠です。インボイス制度の実施

により、一人親方の廃業も取りざたされています。

インボイス制度も全体で普及しないと効果が発揮できない。仕事を続けるうえでデジタル対応が急務という点でも共通の課題のように感じます。今は過渡期ですが、国が導入を進めているので、将来的にそうした流れになることは間違いなさそうですね。

きたほの取り組みについて、共感できる点など、ひとことお願いします。

太田 小学校の租税教室に講師として参加しました。子どもたち

が公共施設についてまちのどこに何が欲しいか考えるゲームでは、暮らしやすさにつながる施設と、それが税金によって造られることが認識できる。いい取り組みだと思っています。建築業として我々が手掛け、出来上がったものが使っている人に幸福感を与え、まちや暮らしを豊かにしていく。そうした思いは同じです。



小野寺徹さん

建築業としてより良いものを提供していくのが社会貢献 小野寺

小野寺 私たちも未来ある地域づくりに対する思い、未来を担う子どもたちに向けての思い

は常にあります。今、小・中学校の工事を手掛けていますが、子どもたちにとって、自分たちの学校を造る仕事や人を知る機会にもなるので、あいさつや働く姿を見せることなども意識しています。ものをつくる楽しさを伝えつつ、みんなの暮らしのために税金を生かしていくという意識に繋がっていかばと思っています。

栗原 インボイスについては、対応に苦慮しています。弊社の協力会社さまには免税事業者も含まれています。今後、課税事業者登録されない場合、弊社にどのくらいの負担が発生するのか不安な面もありますが、様子を見ていきたいと考えています。

経産省の「健康経営」について、法人会がすすめる「財政健全化のための健康経営」プロジェクトに賛同しています。健康に留意して会社も元気にしていこうという取り組みです。建築業は残業時間が多くなりがちなところをルール化しつつ、一方で技術を習得、継承していくためには集中した頑張りときというのにも必要だと思っています。繁忙期の労働時間、健康的な生活と兼ね合いを考えながら取り組んでいます。

実は今日、メディアアークに久しぶりに入ったのですが、改めていい建物だなあと感じました。

我々も公共工事の価値、良い税金の使い方だと感じていただけの仕事をしていきたいですね。

第5回通常理事会を開催



3月22日(水)、江陽グランドホテルにおいて通常理事会を開催し、主要議題である「令和5年度事業計画案及び収支予算案」が全会一致で可決承認され、令和5年度の事業活動がスタートしました。新型コロナウイルス感染症が和らいでいることから事業活動を着実に進めることといたしました。

新人社員研修を開催

4月5日(水)卸町会館において「新人社員研修講座」を開催。仙台市内3法人会の共催による本セミナーに総勢90名の皆様にご参加いただき、社会人としてのルールや心構え、自己啓発と自己管理の方法などを学びました。

毎年この時期に開催する本セミナーには、今年も講師に第一印象研究所代表で人材育成コンサルタントの杉浦永子氏をお迎えし、仕事を進めるうえで必要な考え方や、あいさつの基本、名刺交換、電話対応など、途中で行ったペアワークの実践も交え、幅広くご講義いただきました。

参加者からは「仕事の基本が学べて良かった」「本日の経験を今後の仕事で活かしていきたい」など感想が寄せられました。今回の経験を活かし、ますますご活躍されることを心より期待しております。



令和5年度 研修会スケジュール

開催予定	セミナー名
5/12(金)	給与計算実務と社会保険手続きの進め方講座
6/6(火)	やさしくわかる総務・庶務の基本・実務
7/11(火)	よくわかる経理の実務手ほどき講座《初級講座 一日コース》
8/4(金)	よくわかる経理の実務手ほどき講座《中級講座 一日コース》
9/6(水)	言いにくいことも、受け止めやすくアサーションスキル講座
10/3(火)	セルフマネジメント力を高める《一日コース》
11/9(木)	基礎から分かる決算書の授業
12/6(水)	心が元気に笑顔になる!自分軸を整えるコーチングについて
1/11(木)	部下にやる気勇気元気を与える上手な管理術セミナー
2/8(木)	行動が早い人になるための段取り術
3/6(木)	クレーム対応の極意クレーマーをファンに変える

パソコンセミナー

開催予定	セミナー名
6/28(水)	基本をマスターWord&Excel&PowerPoint
7/26(水)	Word&Excelビジネス実践編
9/27(水)	Word2019使いこなし編
11/29(水)	Excel2019使いこなし編

今年度も経営強化・人材育成などに役立つ様々なセミナーを企画しております。ぜひご参加下さい!

※新型コロナウイルス感染防止等により予定が変更になる場合がございますので、ご注意願います。



新入会員の紹介 (2023年1月21日~3月15日入会分)

■正会員

2023年3月22日通常理事会承認

入会月	支部	法人名	業種	推薦者・備考(敬称略)
1月	黒川	(株)瀬戸興業	土木建設関連	AIG損害保険(株)〈河村昭〉
2月	泉東	トラウム(株)	自動車整備・販売	仙台中法人会から転入
2月	泉西	(株)ゆう	訪問介護事業	大同生命保険(株)〈本間千佳〉
3月	宮城	陸前運送(株)	運送業	(株)富樫工業〈富樫利和〉

■賛助会員(支店法人・管轄外法人・個人)

入会月	支部	法人名	業種	推薦者・備考(敬称略)
2月	中央	(株)ヴァージン・スノー	舞台制作・イベント企画	(株)ミスズ企画〈佐々木勝〉
2月	北東	(公社)宮城県医師会 宮城県医師会健康センター	事業所、個人に対する健康診断の実施	

※掲載を辞退された会員様を除いております

令和4年度最後の役員会を開催

女性部会(田中くに子部会長)では、去る3月24日(金)ホテル白萩にておいて、研修委員会並びに交流委員会、第5回役員会を開催しました。この日は、3月末の決算を踏まえて、4月28日(金)に開催される定期総会の議案について審議しました。また、令和5年度の事業計画についても協議しました。



令和5年度事業予定

※一部変更になる場合がございます。

- ◆第43回定期総会／4月28日(金)
- ◆税務研修会／5月26日(金)
- ◆被災地復興応援バスツアー
(石巻市・牡鹿半島)／6月9日(金)
- ◆センスアップセミナーI(太極拳)／7月20日(木)
- ◆忘年会／11月19～20日(日～月)
- ◆センスアップセミナーII
(クリスマスリース作り教室)／12月5日(火)
- ◆第16回税に関する絵はがきコンクール募集
- ◆小学6年生に対する租税教室
- ◆社会貢献活動
(未使用タオル収集、使用済み切手収集、エコキャップ収集)

女性部会会員大募集！入会初年度は年会費無料です。

『卒業式&忘年会』を開催

青年部会(沼田隆部会長)では、去る3月28日(火)「パレスへいあん」にて、「卒業式&忘年会(感謝～みんな笑顔で新年度へ～)」が卒業生10名を含む部会員74名の参加で開催されました。

卒業式は、これまで多大な功績を残していただいた卒業生に感謝と慰労の気持ちを込めて執り行われました。沼田部会長からの卒業証書授与の後、山田宗基君からのユーモアを織り交ぜた送辞、卒業生代表の庄司恵介君より答辞を頂戴しました。

忘年会では最低限の感染対策を講じ、卒業生の人となり伝わる紹介文集を基に卒業生にスポットライトが当たる催しを実施しました。その後は、年間最優秀委員会賞の表彰や卒業生からのサプライズ余興等、例年以上の充実した内容となりました。

卒業された先輩方の益々のご健勝とご発展を祈念するとともに、令和5年度の青年部会の更なる飛躍に向けて部会員一同邁進して参ります。



青年部会会員大募集中!詳しくは→ <http://www.yg88.com/>

支部別会員数 2023年3月31日現在

法人会入会のお声がけをしよう!

黒川 224社 (-2)	泉東 233社 (-8)	泉西 205社 (-12)	宮城 167社 (-3)
北西 318社 (-10)	中央 246社 (-7)	北東 299社 (-16)	管轄外の賛助会員 76社 (-2)

合計1,768社 (-60) ※()内は先月末からの増減 ※管轄外の賛助会員は、仙台北税務署管轄外に所在する法人及び個人等。

国税庁からのお知らせ 令和5年5月送付分(令和5年4月決算分)から

法人税等及び消費税等の「申告書等用紙」[※]の送付を取りやめます

国税庁の取組

● 国税庁では、令和5年5月送付分(令和5年4月決算分)からは、社会全体の効率化と行政コスト抑制の観点から、「申告書等用紙」の送付に代えて、確定申告書提出期限や提出部数、中間申告分の法人税額などを記載した「申告のお知らせ」を送付します。(法人税予定申告書及び消費税中間申告書については、従来のとおり送付します。)

※「申告書等用紙」とは、法人税等確定申告書については、各種別表、勘定科目内訳明細書、法人事業概況説明書(調査課所管法人にあつては会社事業概況書)及び適用額明細書をい、消費税等確定申告書については、申告書、付表及び消費税の還付申告に関する明細書をいいます。

● 「申告書等用紙」につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせいただいた場合であっても、送付の対応は致しかねますので、確定申告書の提出に際しては、インターネットを利用して申告を行うことができるe-Taxをご利用いただきますようお願いいたします。

● 書面の「申告書等用紙」が必要な場合は、国税庁ホームページに各種様式を掲載していますので、そちらを出力してご利用いただけますようお願いいたします。

掲載先 「国税庁ホームページ」→「税の情報・手続・用紙」→「申告手続・用紙」→「申告・申請・届出等、用紙(手続の案内・様式)」→「確定申告等情報」→「法人税」又は「消費税・地方消費税」

● 皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

e-Taxの利用について

e-Taxは、オフィス、税理士事務所からインターネットを利用して、法人税や消費税等の申告・納付ができます。

なお、税理士等が納税者の依頼を受けてe-Taxにより申告書等を送信する場合には、納税者本人の電子署名の付与及び電子証明書の添付は必要ありません。e-Taxをぜひご利用ください。

詳しい情報は、e-Taxホームページ(<https://www.e-tax.nta.go.jp>)をご覧ください。



ホームページはこちら



その安心で、
企業とともに未来をつくる。

企業保障

DAIDO 大同生命
仙台支社/
宮城県仙台市青葉区大町1-1-1
(大同生命仙台青葉ビル3F)
TEL 022-221-5486

経営を取り巻く様々なリスクから企業を守る!

Business Guard

AIG損害保険株式会社 仙台支店 TEL.022-221-2532

政府防災の上乗せ補償
ハイパー任意労災
(重傷災害総合保険)

企業向け第三者賠償責任保険
ALL STARS
(事業賠償・費用総合保険)

火災と地震災害に備える
プロパティカード
+企業地震保険
(企業地震保険 付帯損害賠償特約)

個人情報の漏えい事故対策
情報漏えいカード
(個人情報管理特約)

22-073003

Afiac「生きる」を創る。

仙台総合支社
〒980-6122 仙台市青葉区中央1-3-1 エール22階
TEL 022-0120-876-505

発行所/公益社団法人 仙台北法人会 発行人/会長 菅原 裕典
〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目3番22号(仙台ビルディング6階) 電話/022(263)0151 FAX/022(268)0205
編集/公益事業推進委員会 委員長 日下 邦明 印刷/笹氣出版印刷株式会社
きたほHotLineは皆様のお会費によって製作されています。



きたほ
Hot Line

<https://kitaho.or.jp/>

仙台北法人会 検索